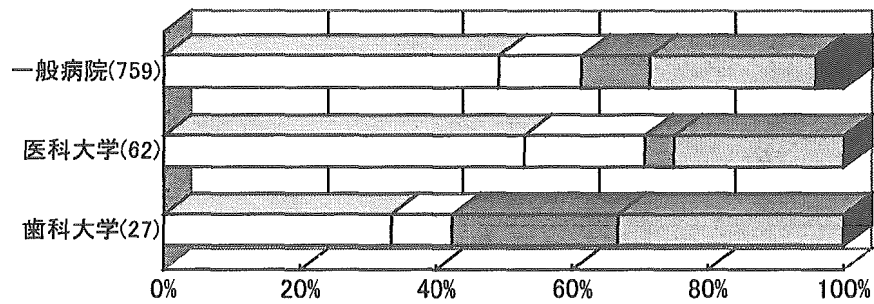
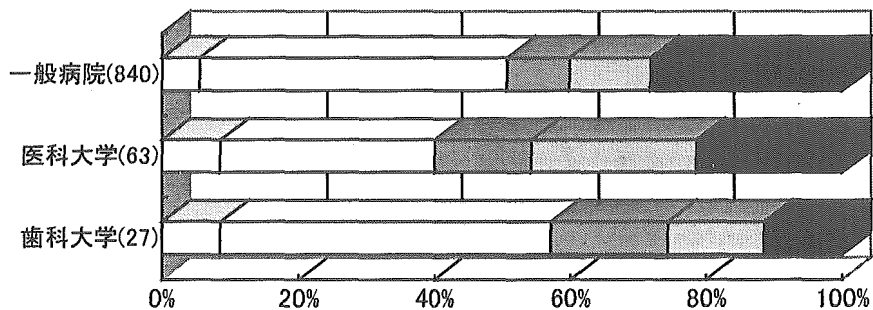


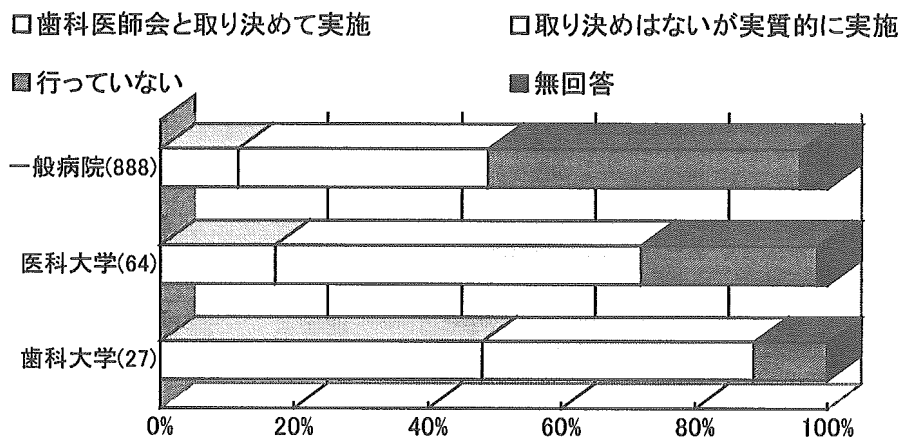
図D エイズ患者の歯科治療をしているか？



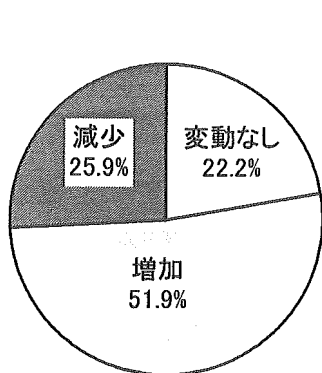
図E 入院患者の感染症チェック状況(複数回答)



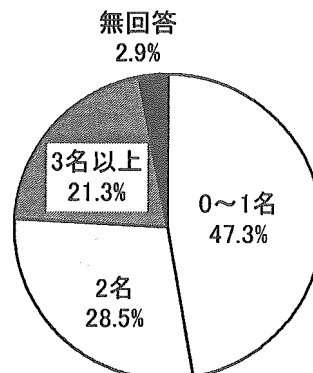
図F 外来患者の感染症チェック状況(複数回答)



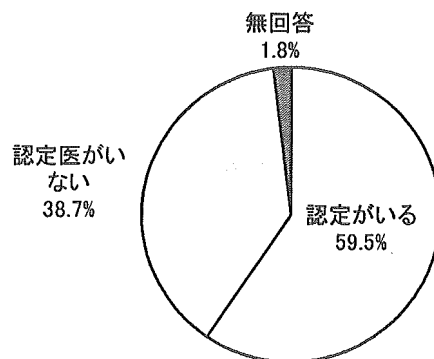
図G 病診連携実施状況



図H 歯科大学の新患者数動向



図I 常勤歯科医数別の割合



図J 認定医(常勤歯科医2名以上施設)

表 A 口腔外科中心の治療を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果

(有効分析対象数 769/888 ; 86.6%)

「救急患者を受け入れている」、「病診連携を実施している」、「認定がある」、「主任が学会の指導医である」ということが統計学的有意に「口腔外科 (2 次医療) を中心とした診療を行っている病院歯科」と関連していた。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.43	0.29	1.54	0.69	3.44
社会保険機関	0.76	0.18	2.13	0.70	6.48
医療法人	-0.34	0.43	0.71	0.31	1.66
地方型	0.03	0.88	1.03	0.67	1.58
常勤歯科医数	-0.03	0.72	0.97	0.83	1.14
救急体制	-1.79	0.00	0.17	0.07	0.39
病診連携	2.189	0.00	8.87	3.67	21.5
在宅医療	-0.329	0.25	0.72	0.42	1.25
認定医	0.939	0.00	2.55	1.58	4.11
学会指導医	1.31	0.00	3.69	2.15	6.34

表 B Universal Precaution を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果

(有効分析対象数 740/888 ; 83.3%)

Universal Precaution を実施している病院歯科と有意に関連があった項目は「口腔外科中心の診療を実施している」ことであり、「社会保険機関」では「国立」よりも有意に Universal Precaution を実施していない。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	-0.25	0.36	0.78	0.46	1.33
社会保険機関	-0.92	0.03	0.40	0.17	0.92
医療法人	-0.21	0.42	0.81	0.48	1.35
地方型	0.04	0.78	1.04	0.77	1.41
常勤歯科医数	0.07	0.28	1.08	0.94	1.23
口腔外科中心	0.48	0.02	1.61	1.07	2.43
救急体制	-0.06	0.76	0.94	0.65	1.36
病診連携	-0.01	0.97	0.99	0.69	1.43
在宅医療	0.09	0.64	1.09	0.76	1.57
認定医	0.23	0.21	1.26	0.88	1.80
学会指導医	-0.10	0.70	0.91	0.55	1.49

表 C 入院患者の感染症チェックを目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果（有効分析対象数 678/888；76.4%）

統計学的に有意な関連が認められる項目はなかった。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.23	0.42	1.26	0.72	2.20
社会保険機関	0.11	0.80	1.12	0.46	2.70
医療法人	0.51	0.07	1.66	0.96	2.87
地方型	-0.17	0.28	0.84	0.61	1.15
常勤歯科医数	0.02	0.81	1.02	0.88	1.17
口腔外科中心	0.33	0.11	1.40	0.93	2.10
救急体制	-0.06	0.79	0.95	0.63	1.43
病診連携	0.34	0.09	1.41	0.94	2.11
在宅医療	-0.33	0.09	0.72	0.49	1.05
認定医	0.00	1.00	1.00	0.69	1.45
学会指導医	0.27	0.29	1.31	0.79	2.17

表 D 外来患者の感染症チェックを目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果（有効分析対象数 747/888；84.1%）

「医療法人」は「国立」と比較して、有意に外来患者の感染症チェックを実施しない傾向がある。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	-0.55	0.05	0.57	0.33	1.01
社会保険機関	-0.47	0.31	0.63	0.25	1.55
医療法人	-0.64	0.02	0.52	0.30	0.92
地方型	-0.14	0.43	0.87	0.62	1.22
常勤歯科医数	-0.06	0.46	0.95	0.82	1.10
口腔外科中心	0.09	0.68	1.09	0.71	1.68
救急体制	-0.21	0.33	0.81	0.52	1.25
病診連携	0.27	0.21	1.31	0.86	2.01
在宅医療	-0.09	0.69	0.92	0.61	1.39
認定医	0.32	0.12	1.37	0.92	2.04
学会指導医	0.30	0.24	1.35	0.82	2.24

表 E 感染者治療（エイズ患者の歯科治療）を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果
（有効分析対象数 743/888；83.7%）

「医療法人」は「国立」よりもエイズ患者の歯科治療を実施しない傾向がある。常勤歯科医師数が多くなるほど、また病診連携を実施して、認定医がいることが、エイズ患者の歯科治療を実施していることと有意に関連していた。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.14	0.70	1.15	0.57	2.32
社会保険機関	0.60	0.23	1.82	0.69	4.80
医療法人	-1.41	0.00	0.25	0.11	0.54
地方型	-0.22	0.33	0.80	0.52	1.24
常勤歯科医数	0.21	0.02	1.23	1.04	1.45
口腔外科中心	0.39	0.11	1.48	0.91	2.38
救急体制	-0.48	0.15	0.62	0.32	1.19
病診連携	1.06	0.00	2.89	1.45	5.77
在宅医療	-0.32	0.30	0.73	0.40	1.33
認定医	0.80	0.00	2.22	1.35	3.65
学会指導医	-0.21	0.47	0.81	0.46	1.44

表 F 病診連携を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果
（有効分析対象数 769/888；86.6%）

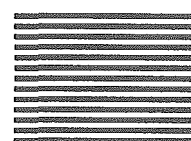
公的機関は国立と比較して有意に病診連携を実施している。口腔外科中心の治療を行っている病院歯科、認定医がいる病院歯科、救急患者を受け入れているほど病院連携をよく実施している。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	1.29	0.00	3.62	1.93	6.76
社会保険機関	0.80	0.13	2.22	0.78	6.31
医療法人	0.44	0.14	1.56	0.86	2.82
地方型	-0.23	0.23	0.80	0.55	1.15
常勤歯科医数	0.15	0.08	1.16	0.98	1.38
口腔外科中心	2.16	0.00	8.68	3.62	20.81
救急体制	-1.44	0.00	0.24	0.16	0.35
在宅医療	-0.13	0.55	0.88	0.58	1.34
認定医	0.57	0.01	1.76	1.15	2.71
学会指導医	-0.08	0.84	0.93	0.45	1.92



アンケート調査に関する基礎資料

（アンケートの一次集計に関する資料を一括掲載した）




1. 対象施設別アンケート設問
 - 1) 一般病院歯科施設に対するアンケート調査表
 - 2) 全施設に対するアンケート設問総括
2. アンケート調査に対する対象施設別一次集計結果

1. 対象施設別アンケート設問

アンケート調査の対象施設はその特殊性から、1. 一般病院歯科施設、2. 医科大学・医学部付属病院歯科施設、3. 歯科大学・歯学部附属病院、の3群に分け、それぞれの群に対して別個の調査表を作成し各施設に発送した。個々の設問の内容はできるだけ3群に共通の内容とし、内容の同じものについてはできるだけ同一の番号を設定したが、各群に固有な問題については独自の設問も作成した。このため、最終的に発送した調査表では、設問が必ずしも連番になっておらず、実際の調査表（図1～図14）ではとところどころ欠番もみられたがミスプリントではない。

設問は、設問Aと設問Bから構成され、前者は主として病院の概要や全般的な内容を問うたものであり、病院事務関係者が回答できる内容のものである。一方、後者（設問B）は、歯科の施設長（医長、部長、科長、教授）に回答を要請した設問である。

アンケート調査票の全設問を以下に提示するが、個々の設問がどの群に使用されたかを示すため、個々の設問の末尾括弧内に、一般（一般病院歯科施設）、医（医科大学・医学部付属病院歯科施設）、歯（歯科大学・歯学部附属病院）、と記入した。



■ ■ ■ ■ ■ 病院歯科に関するアンケート調査のお願い ■ ■ ■ ■ ■

諸君、貴下におかれましては益々ご清祥のことと拝察申し上げます。

さて、21世紀を迎え医療の世界でも新しい時代に向けての改革が求められています。単なる治療を目的とした医療から、機能の回復やQOLを重視した医療、健康を維持するための医療、さらにケアの問題へと展開しつつあります。歯科医療においては、先進国共通の問題として、う蝕と歯周病の罹患率が低下するとともに、歯科医師の過剰という問題も提起されています。

このような状況にあって、21世紀に向けての医療提供体制の基本的な考え方である「患者による医療機関への自由な選択を確保しつつ、医療機関の機能分担を明確化し、適正かつ効率的な医療提供体制を確立する」ためには、各歯科医療機関の能力と機能に応じた位置づけを可能な限り明確にし、歯科医療全体の基本的体制を再構築する必要があります。このためには、従来とく明瞭でなかった「病院歯科」の機能分担を推進し、近未来における医療提供体制の中で病院歯科を有効に位置づけするための体制作りを進めることが急務であります。

このアンケート調査の目的は、病院歯科に関して精度の高い現状分析を行い、今後の効率的歯科医療提供体制の中で病院歯科をどのように定位置づけたいか、また、問題点がどこにあるかに関して総合的に検討するための基礎データを得ることにあります。

調査結果は統計的に分析し、報告書として公開されますが、個々の施設に関わるデータについてはご迷惑をおかけすることのないよう慎重に取り扱う所存であります。


アンケート調査の多い昨今、大変ご迷惑とは存じますが、本調査の主旨をご賢察いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

謹白

厚生科学研究班 主任研究者 寶田 博（三井記念病院）
 分担研究者 山田祐敏（岡崎市民病院）
 田中健弘（神戸市立中央市民病院）
 佐野晴男（徳立荏原病院）
 梅村長生（愛知三の丸病院）
 川崎浩二（長崎大学歯学部）

基資・図1



■ ■ ■ ■ ■ アンケートのご記入にあたって ■ ■ ■ ■ ■

□このアンケート用紙は、調査表Aと調査表Bとの2冊からできています。調査表Aは、病棟事務担当者（医事課職員など）にご回答いただき、調査表Bは、歯科の主任担当者（部長、医長、科長など）にご回答いただくよう問題を分類してありますのでよろしくお願ひ申し上げます。

□このアンケートについてのご回答は、貴院における平成12年の実績に基づいてご記入下さい。年度制を取っている施設では調査（3～4ヶ月分）が必要ですが、関連する質問はごく一部であるため、ご省略ください。

□ご回答にあたって選択肢が番号の場合は、該当する番号をマルで囲って下さい。

□ご回答が複数になる場合は、特に断りのないかぎり複数回答されても結構です。

□ご回答は平成13年1月末日までにご返送下さるようお願い申し上げます。

□本アンケート調査は、回収率の高い信頼性のあるデータを得ることを目的としているため、ご回答いただけない場合やご回答が万が一不備の場合は、当方から再度貴施設に直接お問い合わせすることがありますのでご了承下さい。

□本調査についてご意見、ご不明な点などがありましたら下記の施設にお問い合わせ下さい。

<p>■ 関東地区</p>	<p>○三井記念病院歯科口腔外科 寶田 博 〒101-0024 千代田区神田和泉町1 ☎03-3862-9111, FAX 03-5687-9765</p> <p>○徳立荏原病院歯科口腔外科 佐野晴男 〒145-0065 大田区東甲谷4-5-10 ☎03-6734-9006, FAX 03-5734-8023</p>
<p>■ 中部、東北、北海道地区</p>	<p>○岡崎市民病院歯科口腔外科 山田祐敏 〒444-8653 岡崎市高津寺町五所合3-1 ☎0564-96-7230, FAX 0564-26-4223</p> <p>○愛知三の丸病院歯科口腔外科 梅村長生 〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 ☎052-861-7011, FAX 052-961-7013</p>
<p>■ 中国、近畿地区</p>	<p>○神戸市立中央市民病院歯科口腔外科 田中義弘 〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-6 ☎078-802-4321, FAX 078-302-7537</p>
<p>■ 九州、四国、沖縄地区</p>	<p>○長崎大学歯学部歯科学科 川崎浩二 〒852-8102 長崎市坂本7-1 ☎0958-47-2111, FAX 0958-43-1060</p>

基資・図2

原科研

エイズ患者の歯科治療をしていますか。 1) している、2) していない

昨年1年間の資料における入院患者について下記の表にご記入下さい。

入院患者数(実数)	名	急性細菌性歯肉のうち何路手術例	症例
急性細菌性	名	急性例数	症例
慢性	名	慢性例数	症例
その他	名	院内感染例に依拠	症例
先天性梅毒患者	名	院外感染例に依拠	症例
未定	名	他院口外外科に依拠	症例
期間限定(外科的治療)	名		
総合歯科医師	名		
有資格歯科医師	名		
その他	名		

入院患者について感染症のチェック(HBV, HCV, HIVなど)をしていますか。

- すべての患者に対して行っている
- 同意の得られた患者に対してすべて行っている
- 院法から判断して行っている
- 選択的(必要に応じて)行っている
- 行っていない

外来患者について感染症のチェックをしていますか。

- 同意の得られた患者に対してすべて行っている
- 院法から判断して行っている
- 臨床的価値に照して原則的に行っている
- 臨床的価値に限らず必要に応じて行っている
- 原則として行っていない

全患者に対して区別なく感染予防対策(Universal precaution)を実施していますか。 1) している、2) していない

資料には学会の認定医がいますか。 1) はい、2) いいえ

「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

学会	
学会	
学会	

部長(医長、科長)は学会の指導医ですか。 1) はい、2) いいえ

「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

学会	
学会	
学会	

部長(医長、科長)以外に学会の指導医はいますか。 1) はい、2) いいえ

「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

学会	
学会	
学会	

貴科は学会の研修指定機関ですか。 1) はい、2) いいえ

「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

学会	
学会	
学会	

基資・図7

原科研

歯科医師会に入会していますか。

- 日本歯科医師会に入会している
- 近畿歯科医師会に入会している
- 地区歯科医師会に入会している
- 入会していない

入会してはいる場合、誰が入会していますか。

- 歯科の主任
- 院長
- その他()

入会していない先生にお尋ねします。入会しない理由は何ですか。

- 必要がないから
- 入会金が高いから
- 歯科には一時的に勤務しているから
- その他()

貴科での救急患者の受け入れ体制についておたずねします。

- 24時間体制で受け入れている
- 平日夜間のみ受け入れている
- 休日のみ受け入れている
- 可能な場合のみ受け入れている
- 受け入れていない
- その他()

なんらかの形で受け入れている場合、その実績についておたずねします。

- 1月平均何名程度の救急患者を受け入れていますか。 名
- 昨年一年間に救急で搬送された患者が主科の救急患者は何名でしたか。 名
- 昨年一年間に救急で搬送された患者が何名でしたか。 名

救急患者を受け入れていない理由をおたずねしますが、その理由はなんですか。

- 病院が救急隊でないから
- スタッフが足りないから
- 口外外科医がいないから
- 必要がないから
- 救急はやりたくないから
- その他()

資料は歯科医師臨床研修施設の指定を受けていますか。

資料が「1」を受けている場合は、「1」を受けている、2) 受けていない

資料が「2」を受けていない場合は、「2」を受けていないからご回答下さい。

研修方式は下記のどれですか。

- 単独方式
- 複合方式の主体施設
- 複合方式の差生施設

平成12年度に受け入れた研修医は何名ですか。 名

歯科医師臨床研修医の身分はどのようなですか。

- 研修医(医師)と何名である
- 研修医(医師)と異なる扱いである
- その他()

研修医のための留置室はありますか。 1) あり、2) ない

研修医のための研修室は研修医の机はありますか。 1) あり、2) ない

基資・図8

原科研

制度上の研修期間は1年以上ですが、貴院での研修期間はどのくらいですか。

- 1年間
- 2年間
- 3年以上

2年以上の場合、研修はどのようなですか。

- 1年目と同じ
- その他()

研修内容についておたずねします。実施している内容は下記のどれですか。

1. 口外外科中心の研修に力を入れている
2. 口外外科中心の研修に力を入れている
3. 最新の研修など、ある程度体系的な内容を学んでいる
4. その他()

歯科に対しての研修内容をどのように教育されていますか。

1. 年功を置いて研修を中心に行っている
2. ほとんどは研修を通じて、簡単な施設内研修に力を入れている
3. ある程度進んだ研修に対する研修施設を力を入れている
4. 研修生の実力に応じて研修内容を個別に力を入れている
5. できる限り研修所、患者に対する研修内容を積極的に力を入れている

研修生の実地研修にあたっては、院外から研修教育についてどのように行われますか。

1. 別に開業して研修がなされている
2. 大学によって研修内容がかなり異なるように感じている
3. 患者に対する研修施設については不十分な大学が多い
4. 一般医学に対する教育(有資格歯科医師など)が不十分である
5. その他()

研修後の進路についてどのようにおたずねしていますか。

1. いずれも進路をみていない
2. ある程度進路について相談に乗っている
3. 研修後も自施設で勤務を促している
4. その他()

歯科医師臨床研修医の待遇について具体的な内容をおたずね下さい。

資料が「1」を受けていない」と回答された先生にお尋ねします。その理由は下記のどれですか。

1. 研修のための条件を満たしていないから
2. 医科の指定施設でないから
3. 研修がなれないから
4. メリットがないから
5. 研修管理者が許可しないから
6. 予算的負担がないから
7. 関心がないから

研修医の研修料を納入する予定はありますか。

1. 申請中
2. 承認中
3. 近々受け入れる方針である
4. 受け入れる方針であるが、時期は不明である
5. 受け入れる予定はない

基資・図9

原科研

超時労働時間として1、2、3、4の場合、その方式はどのですか。

1. 単独方式
2. 複合方式の主体施設
3. 複合方式の差生施設

上述の歯科医師臨床研修医以外になんらかの研修医を受け入れていますか。

1. 常時受け入れている
2. 受け入れることもある
3. 受け入れていない

受け入れている場合は、その実績はどのようになっていますか。

1. ほとんど常勤の研修医(研究生など)、その研修医(有給、無給)
2. 週に1〜2回、月に1〜2回など、不定期に研修医(研究生など)
3. 非常勤歯科医師の扱い
4. その他()

院外の歯科医師の参加できるなんらかの勉強会をしていますか。

貴施設には研修学校がありますか。 1) している、2) していない

「ある」の場合、名称をお書き下さい。 1) あり、2) ない

「ある」の場合、名称をお書き下さい。 1) している、2) していない

貴施設は歯科衛生士学校の臨床研修施設ですか。 1) はい、2) いいえ

今後、研修施設と一般診療所とは機能分担し、連携(研修連携)する必要があると思われるが、このことについてどのようにお考えですか。

1. 今後、研修連携を積極的に進めるべきである
2. 必要であるが、実現は難しい
3. 今のままでよい
4. 必要とは思えない
5. 分からない

貴科において歯科の研修連携を行っていますか。

1. 地区歯科医師会と取り決めを行って行っている
2. 取り決めはないが、実質的に行っている
3. 地域との取決めを行うよう取り組んでいる
4. 行いたい、実現は難しい
5. 行っていない

研修医の研修料の納入は、1、2、3、4の場合、その理由はどのですか。

1. 地域からの研修料がない
2. 地域的ななかでそのような体制がまだできていないから
3. 自施設(研修医)にその様な体制が整っていないから
4. 他の施設が行っているから
5. 現状ではやってもメリットがない
6. 必要性を感じない
7. 関心がない
8. 分からない
9. その他()

研修医の研修料を納入する予定はありますか。 1) あり、2) ない

基資・図10

原科研 回答済み

質問事項 病院歯科加算を算定していますか。

1. 病院歯科Iで算定している
2. 病院歯科IIで算定している
3. 算定していない(できない)

回答事項 在宅医療を行っていますか。 1) はい、2) いいえ

質問事項 「はい」の場合、年間患者数はどのくらいですか。 名

回答事項 「はい」の場合、年間延べ診療回数はいくつですか。 回

質問事項 病院歯科がなすべき役割は以下のうちどのような役割が妥当ですか。

1. 夜間、休日の一般歯科診療(歯髄炎など)
2. 一般歯科診療所(開業医)での開発症(抜歯痛など)
3. 有難者に対する歯科医療
4. いわゆる感染症(HIV、HCV、HBV)患者
5. 顎炎、顎窩膿瘍、外傷などの口腔外科的疾患

質問事項 一般歯科診療所(開業医)から特定の診療内容(智歯の抜歯など)について依頼(紹介)された患者に対する対応についてお答え下さい。

1. 依頼された診療が終了したら直ちに紹介元の診療所に戻す
2. 患者が引き続き診療を希望した場合でも紹介元の診療所にお任せする
3. 患者が引き続き診療を希望した場合、紹介元の了解なしに治療することもある
4. 患者の意思を尊重し、希望すれば(紹介元の了解なしに)自施設での診療を行っている
5. 紹介元の了解が得られれば自施設での診療を行っている

質問事項 一般歯科診療所(開業医)からの紹介患者が、依頼された診療が終了した後も引き続き自施設での診療を希望する場合はどの程度ありますか。

1. かなり多い(半数以上)
2. 時々ある(1/3程度)
3. たまにある(10%以下)
4. ほとんどない

質問事項 一般歯科診療所(開業医)から特定の診療について依頼されたが、依頼の内容が治療できないような場合、どのように対応されていますか(例えば抜歯を依頼されたが、歯内療法で十分対応できると判断されるような場合)。

1. 紹介元の診療所の方針通り依頼内容を拒否するようにしている
2. 紹介元の診療所に連絡して方針を伝えるよう親得する
3. 紹介元の診療所に連絡して協議した後、あらかじめ方針を双方で決める
4. 自施設での方針に沿って治療し、必要したことも治療後に連絡する
5. 理由を明記した報告書を持たせて紹介元の診療所に送付する

質問事項 貴科は特定の大学(歯科口腔外科、医局)と協力関係にありますか。

1. 人事も診療も独自の方針で行っており、特定の大学とは協力関係はない
2. 人事については独自性を持っているが、診療については協力を得ることがある
3. 人事も診療も特定の大学の方針に沿って行っている
4. 人事も診療も時に適宜大学の協力を得ている
5. その他

質問事項 口腔外科疾患や若年者の難症例を高次の(三次)医療機関(大学の関連施設や国立センターなど)に紹介することはありますか。

1. 難症例もすべて自施設で対応しており、ほとんど皆無である
2. 難症例を時々紹介している
3. 難症例をしばしば紹介している
4. 紹介するよりも自施設に附帯者を派遣してもらうことがある

- 9 -

基資・図11

原科研 回答済み

質問事項 日本病院歯科口腔外科協議会をご存じですか。 1) はい、2) いいえ

質問事項 日本病院歯科口腔外科協議会に加入されていますか。 1) はい、2) いいえ

質問事項 「かかりつけ歯科医」制度を推進する意味から、すでに貴科が実施に対応しているものをつぎの中から選んで下さい(複数回答可)。

1. いわゆる感染症(HIV、HCV、HBV)患者に対する歯科治療
2. 有難者に対する歯科治療
3. 寝たきり、老人性痴呆症患者などに対する入院下での一般歯科治療
4. 障害者歯科治療
5. 口腔外科的疾患の診療
6. 緊急な歯周病
7. 歯内療法の種類別
8. 顎関節症時の支援
9. 顎関節症に対するMRI、インプラントにおけるCTによる診断検査など
10. インプラントの植立手術
11. 地域歯科医師会との連携による研修
12. 学会の認定医制度における研修病院
13. 歯科医師臨床研修制度における教育方式の主流化

質問事項 近年医療を取り巻く環境は厳しく、病院はどこでも経営に厳しい状況に置かれているのが現状です。このような状況にあって、病院歯科も収支の改善に努められているものと思われれます。そこで、最後に貴病院内科の昨年(2000/1/1~2000/12/31)の収入についてお答え下さい。

	外 来	入 院
保険収入	千円	千円
社保収入	千円	千円
国保収入	千円	千円
その他	千円	千円
徳義外収入	千円	千円
合 計	千円	千円

質問事項 貴科の収入についてどのように評価されますか。

1. 他科に比べ高収入である
2. 同程度である
3. 他科に比べ低収入である
4. 他科に比べ著しく低収入である
5. 分からない

質問事項 貴科の収入を(さらに)改善するために、なにか努力をされていますか。

1. 診療時間を延長している
2. 正味の診療費以外を低用している
3. 診療の効率化を図るよう努力している
4. 入院を増やすよう努力している
5. インプラントを積極的に導入している
6. 紹介率を上げ、病院歯科加算を得よう努力している
7. 経営を切り詰めている
8. 職員を減らしている(減らされた)
9. 収支に問題がないので、特に努力はしていない
10. 特に努力はしていない

- 10 -

基資・図12


原科研 回答済み

質問事項 水アンケート調査について、ご意見がありましたらお書き下さい。

質問事項 貴科の協力を賜り誠に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

- 11 -

基資・図13



基資・図14

A-6 平成12年の診療実績についておたずねします。（一般，医）

1. 病院全体の初診患者数(初診料算定患者数で救急患者を含む)	名
2. 病院全体の延べ外来患者数	名
3. 病院全体の延べ入院患者数	名
4. 病院全体の入院患者の平均在院日数	日
5. 病院全体の紹介率	%
6. 歯科の延べ入院患者数	名
7. 歯科の延べ外来患者数	名
8. 歯科の初診患者数	名
9. 歯科入院患者の平均在院日数	日
11. 歯科の紹介率(質問B-28-1再掲)	%

A-6 平成12年の診療実績についておたずねします。（歯）

病院全体の初診患者数（再来新患を含まない数）	名
病院全体の初診患者数（初診料算定患者数で救急患者を含む）	名
病院全体の延べ外来患者数	名
延べ入院患者数	名
入院患者の平均在院日数	日
病院全体の紹介率	%

A-7 歯科で診療情報提供書を発行し他施設に紹介（逆紹介）する場合は（一般）

1) とんどない, 2) 10件以下/月, 3) 11~20件/月, 4) 20件以上, ある

A-8 貴病院は救急病院ですか。（一般，医，歯）

1) はい, 2) いいえ

A-9 貴病院はエイズの拠点病院ですか。（一般，医）

1) はい, 2) いいえ

A-10 貴病院は医師臨床研修指定病院ですか（一般）

1) はい, 2) いいえ

A-10-1 「はい」の場合，平成12年度の採用人数は

名.

A-10 貴病院における平成12年度の医師臨床研修生の採用人数は何名ですか（医）

名

A-11 貴病院では病診連携を行っていますか。（一般，医，歯）

1) はい, 2) いいえ

A-12 貴病院を受診する場合，原則として紹介状を必要としますか。（一般，医，歯）

1) はい, 2) いいえ

A-13 貴院の病診連携は登録医または連携医制をとっていますか。（一般，医）

1) はい, 2) いいえ

A-12-1 「はい」の場合，歯科医師も含まれていますか.

1) はい, 2) いいえ

A-14 院外の医師または歯科医師が貴病院で診察できますか。（一般，医）

1) はい, 2) いいえ

A-14-1 「はい」の場合，治療行為もできますか.

1) はい, 2) いいえ

A-15 院外医師との研修会(勉強会，症例検討会など)を行っていますか。（一般，医）.

1) はい, 2) いいえ

A-16 院外の医師または歯科医師は貴病院のCTやMRIを利用できますか（一般，医）.

1) はい, 2) いいえ

A-17 在宅医療（医科）を行っていますか。（一般，医）

1) はい, 2) いいえ

A-17-1 「はい」の場合在宅医療の後方支援を行っていますか.

1) はい, 2) いいえ

A-18 病院の経営状態は良好ですか。（一般，医，歯）

1) 良好, 2) あまりよくない(赤字)

A-19 最近数年の状況において貴病院の新患数はどのように変動していますか。（歯）

1. ほとんど変動はない 2. 増加傾向にある
3. 少傾向にある 4. 分からない

B-1 貴科の標榜科名(保健所に届け出たもの)は下記のどれですか(複数回答可)。(一般, 医)

1. 歯科
2. 歯科口腔外科
3. 矯正歯科
4. 小児歯科
5. 歯科・口腔外科
6. 歯科・歯科口腔外科
7. 口腔科
8. その他 ()

B-1-1 現在, 多くの歯学部および歯科大学附属病院において診療科の再編を行っていますが, 貴病院における状況はいかがですか(歯)

1. 従来通りの診療科名である
2. ほとんど従来通りの診療科名である
3. 現在, 検討中である
4. 半分程度再編を行った
5. 大幅に診療科の再編を行った

B-1-2 貴附属病院の具体的な診療科名をお教えてください(歯)

B-2 上記の診療科名のほか院内標榜科名を掲示していますか(一般, 医).

1) はい, 2) いいえ

B-2-1 「はい」の場合, その診療科名をお書き下さい(一般, 医)

B-3 スタッフの構成についてお尋ねします。(一般, 医)

	常 勤	非常勤*	その他	研修医
歯科医師	名	名	名	名
歯科衛生士	名	名	名	
看護婦	名	名	名	
技工士	名	名	名	
歯科助手	名	名	名	
受付	名	名	名	
その他	名	名	名	

B-4 設備・器械器具についてお尋ねします。(一般, 医)

ユニット総数	台
感染症専用ユニット	台
オルソパントモ	台
超音波スケーラー	台
根管長測定器	台
電気メス	台
CT (院内)	台
MRI (院内)	台

B-5 貴院および貴科の設備についてお尋ねします。(一般, 医)

B-5 貴院および貴科の設備についてお尋ねします。(一般, 医)

1. ICUはありますか(一般) 1) はい, 2) いいえ
2. CCUはありますか(一般) 1) はい, 2) いいえ

3. 図書室はありますか（一般） 1) はい, 2) いいえ
 4. 歯科外来手術室はありますか（一般, 医） 1) はい, 2) いいえ
 5. 病棟に歯科の処置室はありますか（一般, 医） 1) はい, 2) いいえ
 B-6 育成医療機関の指定を受けていますか。（一般, 医, 歯） 1) はい, 2) いいえ
 B-7 貴科の診療内容はずぎのどれに当てはまりますか。（一般, 医）

1. 口腔外科（高次医療）中心
 2. 一般歯科治療（有病者歯科治療を含む）中心
 5. どちらともいえない（中間型）
 6. その他（ ）

- B-8 ウイルス性肝炎患者の歯科治療をしていますか。（一般, 医, 歯） 1) している, 2) していない
 B-9 エイズ患者の歯科治療をしていますか。（一般, 医, 歯） 1) している, 2) していない
 B-10 昨年1年間の貴科における入院患者について下記の表にご記入下さい。（一般, 医, 歯）

- 入院患者総数（実数） 名
 良性腫瘍 名
 悪性腫瘍 名
 嚢胞 名
 外傷 名
 先天性形態異常 名
 炎症 名
 顎関節症（外科的処置） 名
 障害者歯科医療 名
 有病者歯科医療 名
 その他 名

悪性腫瘍患者の内, 再建手術症例	
総症例数	症例
貴科にて再建	症例
院内形成外科に依頼	症例
他院形成外科に依頼	症例

- B-11 入院患者について感染症のチェック（HBV, HCV, HIV など）をしていますか。（一般, 医, 歯）
 1. すべての患者に対して行っている
 2. 同意の得られた患者に対してすべて行っている
 3. 既往歴から判断して行っている
 4. 選択的（必要に応じて）に行っている
 5. 行っていない

- B-12 外来患者について感染症のチェックをしていますか。（一般, 医, 歯）
 1. 同意の得られた患者に対してすべて行っている
 2. 既往歴から判断して行っている
 3. 観血的処置に際しては原則的に行っている
 4. 観血的処置に限らず必要に応じて行っている
 5. 原則として行っていない。

- B-13 全患者に対して区別なく感染予防対策（Universal precaution）を実施していますか。（一般, 医, 歯）
 1) している, 2) していない

- B-14 貴科には学会の認定医がいますか。（一般, 医） 1) はい, 2) いいえ

B-14-1 「はい」の場合, 学会名をお書き下さい。（一般, 医）

	学会
	学会

学会

B-15 部長 (医長, 科長) は学会の指導医ですか. (一般)

B-15 主任 (教授, 助教授 etc.) は学会の指導医ですか. (医)

1) はい, 2) いいえ

B-15-1 「はい」の場合, 学会名をお書き下さい.

学会
学会
学会

B-16 部長 (医長, 科長) 以外に学会の指導医はいますか. (一般)

1) はい, 2) いいえ

B-16 主任以外に学会の指導医はいますか. (一般, 医)

1) はい, 2) いいえ

B-16-1 「はい」の場合, 学会名をお書き下さい. (一般, 医)

学会
学会
学会

B-17 貴科は学会の研修指定機関ですか. (一般, 医)

1) はい, 2) いいえ

B-17-1 「はい」の場合, 学会名をお書き下さい. (一般, 医)

学会
学会
学会

B-18 貴科では管理者の誰かが歯科医師会に入会していますか. (一般, 医)

1. 日本歯科医師会に入会している
2. 都道府県歯科医師会に入会している
3. 地区歯科医師会に入会している
4. 入会していない

B-18-1 入会している場合, 誰が入会していますか. (一般, 医)

1. 貴科の責任者
2. 院長
3. その他 ()

B-18-2 入会していない先生にお尋ねします. 入会しない理由は何ですか. (一般, 医)

1. 必要性がないから
2. 入会金が高いから
4. その他 ()

B-19 貴科での救急患者の受け入れ体制についておたずねします. (一般, 医, 歯)

1. 24時間体制で受け入れている
2. 平日夜間のみ受け入れている
3. 休日のみ受け入れている
4. 可能な場合のみ受け入れている
5. 受け入っていない
6. その他 ()

B-19-1 なんらかの形で受け入れている場合, その実績についておたずねします. (一般, 医, 歯)

1. 一月平均何名程度の救急患者を受け入れていますか 名
2. 昨年一年間に救急で搬送された歯科が主科の救急患者は何名でしたか 名
3. 昨年一年間に間に救急で歯科に入院した患者は何名でしたか 名

4. その他 ()

B-20-9 患者に対しての歯科治療をどのように教育されていますか。(一般, 医, 歯)

1. 年間を通じて見学を中心に行っている
2. ほとんどの期間を通じて, 簡単な治療内容についてのみ実際にやらせている
3. ある期間を過ぎたら患者に対する歯科治療をやらせている
4. 研修生の実力に応じて歯科治療を積極的にやらせている
5. できるだけ早い時期から, 患者に対する歯科治療を積極的にやらせている

B-20-10 研修生の実地指導にあたられた経験から卒前教育についてどのように思われますか。(一般, 医)

1. 特に問題なくよく教育がなされている
2. 大学によって教育内容にかなり差があるように感じる
3. 患者に対する歯科治療については不十分な大学が多い
4. 一般医学に対する教育(有病者歯科医療など)が不十分である
5. その他 ()

B-20-11 研修後の進路についてどのようにされていますか。(一般, 医, 歯)

1. いっさい面倒をみていない
2. ある程度進路について相談に乗っている
3. 研修後も自施設で面倒をみている
4. その他 ()

B-20-12 歯科医師臨床研修医の待遇について具体的な金額についてお答え下さい。(一般, 医, 歯)

円/月

B-20-13 B-20 で「2」受けていない」と回答された先生(施設)にお聞きします。その理由はつぎのどれですか。(一般, 医, 歯については2. は欠番)

1. 指定医のための条件を満たしていないから
2. 医科の指定病院でないから
3. 採算がとれないから
4. メリットがないから
5. 病院管理者が許可しないから
6. 予算的裏付けがないから
7. 関心がない

B-20-14 将来受け入れる予定はありますか。(一般, 医)

1. 申請中
2. 準備中
3. 近々受け入れる方針である
4. 受け入れる方針であるが, 時期は不明である
5. 受け入れる予定はない

B-20-15 前問 B-20-14 で 1, 2, 3. の場合, その方式はどれですか。(医)

1. 単独方式
2. 複合方式の主たる施設
3. 複合方式の従たる施設(一般)

B-21 上述の歯科医師臨床研修医以外になんらかの研修医を受け入れていますか。(一般, 医)

1. 常時受け入れている

2. 受け入れることもある

3. 受け入れていない

B-21-1 「受け入れている」の場合、その実態はつぎのどれですか。(一般, 医)

1. ほとんど常勤の研修医 (研究生など), その処遇は (有給, 無給)

2. 週に1~2回, 月に1~2回など, 不定期にくる研修医 (研究生など)

3. 非常勤歯科医師の扱い

4. その他 ()

B-22 院外の歯科医師の参加できるなんらかの勉強会をしていますか。(一般, 医)

1) している, 2) していない

B-23 貴施設には看護学校がありますか。(一般, 医)

1) ある, 2) ない

B-23-1 「ある」の場合、歯科の講義をしていますか。

1) している, 2) していない

B-23-2 「ある」の場合、歯科の臨床実習をしていますか。

1) している, 2) していない

B-24 貴施設は歯科衛生士学校の臨床研修施設ですか。(一般, 医, 歯)

1) はい, 2) いいえ

B-25 今後、(大学) 病院歯科と一般診療所とは機能を分担し、病診連携する必要があるといわれていますが、このことについてどのようにお考えですか。(一般, 医)

1. 今後、病診連携を積極的に進めるべきである

2. 必要であるが、実際は難しい

3. 今のままでよい

4. 必要とは思わない

5. 分からない

B-26 貴病院において歯科の病診連携を行っていますか。(一般, 医, 歯)

1. 地区歯科医師会と取り決めをして行っている

2. 取り決めはないが、実質的には行っている

3. 地域との間で行うよう努力している

4. 行いたい、実施は難しい

5. 行っていない

B-26-1 前問の回答が4, 5の場合、その理由は何ですか。(一般, 医)

1. 地域からの要請がない

2. 地域のなかでそのような体制がまったく進んでいないから

2. 自施設 (病院自体) にその様な体制が整っていないから

4. 他の病院が行っているから

5. 現状ではやってもメリットがない

6. 必要性を感じない

7. 関心がない

8. 分からない

9. その他 ()

B-26-2 「行っていない」場合、病診連携をはじめる予定はありますか。(一般, 医)

1) ある, 2) ない

B-27 病院歯科加算を算定していますか。(一般, 医, 歯)

1. 病院歯科 I で算定している

2. 病院歯科 II で算定している

3. 算定していない (できない)

B-28 貴附属病院は「特定機能病院」の指定を受けていますか。（医）

1) 指定を受けている, 2) 指定を受けていない

B-28-1 前問で「指定を受けている」, 「指定を受けていない」に関わらず, 貴科（歯科施設）だけの紹介率は
何%ですか。（医） %

B-28-2 「2」指定を受けていない」場合, いわゆる病院歯科加算（病院歯科初診料1および2, 病院歯科再診
料1および2）を算定していますか。（医）

1. 病院歯科加算1で算定している
2. 病院歯科加算2で算定している
3. 算定していない

B-28 在宅医療を行っていますか（一般）

1) はい, 2) いいえ

B-28-1 「はい」の場合, 年間患者数はどのくらいですか（一般）

名

B-28-2 「いいえ」の場合, 年間延診療科異数はどのくらいですか（一般）

回

B-29 病院歯科がなすべき救急処置は以下のうちどのような処置が妥当ですか。（一般, 医）

1. 夜間, 休日の一般歯科処置（歯髄炎など）
2. 一般歯科診療所（開業医）での偶発症（抜歯後出血など）
3. 有病者に対する歯科医療
4. いわゆる感染症（HBV, HCV, HIV）患者
5. 顎炎, 蜂窩織炎, 外傷などの口腔外科的疾患

B-30 一般歯科診療所（開業医）から特定の治療内容（智歯の抜歯など）について依頼（紹介）された患者に対
する対応についてお答え下さい。（一般）

1. 依頼された治療が終了したら直ちに紹介元の診療所に戻す
2. 患者が引き続いて診療を希望した場合でも紹介元の診療所に必ず戻す
3. 患者が引き続いて診療を希望した場合, 紹介元の了解なしに治療することもある
4. 患者の意志を尊重し, 希望すれば（紹介元の了解なしに）自施設での診療を行っている
5. 紹介元の了解が得られれば自施設での診療を行っている

B-30-1 一般歯科診療所（開業医）からの紹介患者が, 依頼された治療が終了した後も引き続いて
貴院での診療を希望する場合はどの程度ありますか。（一般）

1. かなり多い（半数以上）
2. 時々ある（1/3程度）
3. たまにある（10%以下）
4. ほとんどない

B-30-2 一般歯科診療所（開業医）から特定の治療について依頼されたが, 依頼の内容が納得でき
ないような場合, どのように対応されていますか（例えば抜歯を依頼されたが, 歯内療法
で十分対応できると判断されるような場合）。（一般）

1. 紹介元の診療所の方針通り依頼内容を行うようにしている
2. 紹介元の診療所に連絡して方針を変えるよう説得する
3. 紹介元の診療所に連絡して協議した後, あらためて方針を双方で決める
4. 自施設での方針に沿って診療し, 変更したことを治療後に連絡する
5. 理由を明記した報告書を持たせて紹介元の診療所に帰す

B-30 貴科は特定の大学（歯科口腔外科, 医局）と協力関係にありますか（一般）

1. 人事も診療も独自の方針で行っており, 特定の大学とは協力関係はない

